令和6年度都立工芸高校定時制における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
英語	基礎学力の定着	生徒の実態を把握し、習熟度に合った授業を行う。	ALTを活用し、実際の英語に触れ、学習意欲の向上を図る。
国語	共感したり想像したりする力を育成する	・授業ごとに自己評価させ、学習の取り組みを客観的に分析させる。 ・ペアやグループによる交流を実施し、自己の論理に活用させる。 ・感想や意見を文章や作文にまとめることで他者の主張や感性に対して自己の考えを持たせる。	・一人一台端末を利用し各個人の情報を効果的に共有する。 ・生徒間による相互評価を実施し、各個人の学習目標を明確にさせて活動に臨ませる。
数学	理数系の教養の学び続ける上での基礎・基本を養う。	・習熟度別の指導を取り組む。 ・躓いた際は補習などを設定し、生徒ができまで教員が寄り添う。	・1人1台端末を活用し、理数教育の楽しさを体感させる。 ・中には大学入試に挑む生徒も在籍するので、発展的な課題を課す場合もある。
理科	実験・観察を充実させるとともに、基礎・基本を養わせる。	・実験・観察のあと、必ずまとめを行う。 ・学習に遅れ気味の生徒には、補習などを行いできる限り寄り添う。	・教科書にない教材を実験・観察に取り入れ、生徒に興味関心を起こさせる。 ・「探究の過程」を踏まえ、おもに実験・観察の授業の相互参観を実施する。
社会	「社会」を形作る主体として現代社会の問題を考察する。	・ICT教材を用いて資料の読み取りなどの工夫を行い、基礎・基本を各確実に定着させる。 ・ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸや対話を活用しながら自身の考えをアウトプットさせる。	問題解決に向け、多角的・多面的な視点を活かしながら論理的に考察する態度を養う。
家庭	生活に必要な知識と技術の習得	ライフステージには、どのような発達課題があるか考え、生活することの重要性を理解させる。	自立した生活を営むため、主体的な知識と技術を習得させる。
保健体育	**健康の保持増進と体力の向上を目指す**	運動の合理的、計画的な実践を通じて、運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につける。	生涯に渡り、運動の実践を通じて活力のある生活を営む態度を養う。
アートクラフト	金属工芸作品制作を通して、根気強く手作業に取り組む姿勢と感性を養う。	金属工芸技法（鍛金・彫金・鋳金）の基礎を学び、伝統にとらわれない作品制作を目指す。	資格取得（技能検定等）指導の実施美術大学、専門学校進学へ向けたプレゼン指導等。
マシンクラフト	各種工作機械を安全に使用し、モノづくりの知識・技術を身につける。	機械科のモノづくりに関する知識・技術を学び、技術革新に対応できる柔軟な能力と実践的態度を身につける。	機械を用いた精密加工、3Dプリンタを用いたデザインなど、多方面で活躍できる知識・技術の育成。
インテリア	ｲﾝﾃﾘｱ空間構成に必要な製図、平面構成、立体構成分野の基礎知識を修得させる。	家具の三面図が描ける、模型で立体構法の演出、木工具の取り扱いと手入れ方法を学び、さらにCADソフトで住空間演出のノウハウを身につける。	伝統工法を追求し、家具のデザインと製作、塗装までの一貫した取り組みと、作図とデザイン構成力をCADソフトを使いプレゼンテーション能力力を高める。
グラフィックアーツ	グラフィックデザインの技術と感性を磨く	手作業の実習を通して美的感覚や基礎造形力を高め、DTPソフトを活用してグラフィックデザインの企画から制作に関わる知識・技術を身に付ける。	・ポスターやイラスト等の各種デザインコンテスト参加 ・グラフィックデザイン検定、色彩検定への参加 ・展覧会やギャラリー等への見学会実施